

竹島対策事業費

是津議員 竹島対策啓発について

- ・標語看板の設置。
- ・シンボルマークの活用。
- ・パッチを作成し販売。
- ・町のホームページからの情報発信の拡充。等々を図るべきでは。

総務課長 看板設置は計画的に実施する、他は検討して取組んでいく。

企業誘致対策事業費

是津議員 定住体験ツアーで若者交流や移住者支援をするところがあるが、町内には若者が集う拠点が無い、若者の交流拠点づくりが必要では。

定住対策課長 今後その方向で検討していく。

議員 ビジネスプランコンテスト実施は評価するが「ものづくり学校使用」を条件から外し、町の資源を活用の条件だけで良いのでは。また、賞金など支援を拡充して町の

本気度を示すべきでは。

課長 試行錯誤していくが支援の拡充については検討する。

隠岐汽船運営支援費

是津議員 隠岐汽船支援で船舶の固定資産税相当額80万6千円を助成とある。

同社の22年度決算は約3億円の赤字だ、なぜ助成するのか。

観光課長 平成22年9月に「燃料の高騰等、厳しい経営環境が予想されるので支援を続けて欲しい」旨の要望があり、支援の継続を決めたが、毎年経営状況を見て判断していく。

議員 燃料高騰に関して昨年運賃値上げをしている正当性がない。

にぎわい商品券発行事業費

是津議員 にぎわい商品券発行を経済対策として行うとあるが、経済効果の検証はしたか。

観光課長 専門的な検証はしていないが、加盟店の売り上げは増えたとのことである。

議員 全店が参加していないし、商品券を買えない人もいる、不公平だ、税金を使つてやることではない。

廃止代替バス購入費

齋藤(幸) 廃止代替バス(路線バス)購入費として2050万円上がっているが何年間で何台購入するのか。

観光課長 購入計画については、23年度の会議で24年度から毎年一台ずつ購入する計画であること説明した。

議員 乗車定員は、課長 規格は新年度に地域公共交通会議で審議する。

議員 生活路線バスの検討として22年の地域交通会議でこの計画があることを説明したのか。

課長 22年までの会議において車輛の更新時期がきていることは説明した。議員 予算を要求する場合、積算の基礎になるものが必要ではないか。

課長 33人乗りのバスで要求した。大型バスでも金額は同程度だ。

補正予算

主な歳出

減債基金積立金

1億7300万円
公債返済のため基金として積立を行う。

隠岐広域連合負担金

1億2181万円
消防事業会計分
(無線デジタル化分)

光ファイバー通信引き込み事業費

1040万円
実績の変更に伴い増額。

総合事務組合負担金

1067万円
職員退職に伴い増額。



町の安全を守る消防車両。

反対討論

是津輝和 議員

○隠岐汽船経営支援費について

船舶の固定資産税相当額を補助することだが、同社の平成22年度決算書によると、約3億円の赤字であり、その上に減価償却費が約2億1000万円あり、合わせて約5億1000万円の実質利益となっている。このような赤字会社に、何故貴重な税金を投入しなければならないのか理解が来ない。

○にぎわい商品券発行事業費について

町内の経済対策として、引き続き実施することだが、その効果がきちんと検証されていないうえ、当該商品券が町内すべての商店、事業所で使

える訳でもなく、その上、商品券を購入した人だけが、税の恩恵を受けるなど、税の配分の公正、公平の観点から大いに問題である。

税金を使つての経済対策を図るなら、「減税」のほうが、恩恵を町民が等しく享受でき、公平である。

プレミアム付き商品券の発行は商工会で行うべきだ。

私は、予算など町の行政について、町民の皆さんに、きちんと説明が出来なければならぬが、私は上述の二点について、税金の使い方に疑義があり、町民の皆さんに説明が出来ない。

従つて「平成24年度一般会計予算」に反対をする。

高宮陽一 議員

○孫抱き交付金事業費について

再び、孫抱き交付金事業に反対討論をするようになったことは大変残念だ。昨年9月定例会の補正予算でこの事業が提案されたが、あまりのお粗末さに自治体が行う施策としては不公平の最たるものだ。反対討論を行つたが賛成多数で補正予算は可決された。

この事業は、孫抱き交付金ではなく、披露宴が出来る経済的にも余裕のある新郎新婦に対する披露宴支援交付金としか言いようがない。アンケート調査でも判るように、もともと隠岐で披露宴を行う予定だったので助かったとの結果もある。披露宴はしたいけど出来ない新郎新婦はどのような思いか。

29人以下では地域経済対策とはならず、伝統文化の子授けの儀を島外で行つても伝統文化の継

承とはならず、この要綱は矛盾だらけの不公平要綱である。町内の事業者、関連業者の機運が見えた

ということであれば、それに変わるものは無いと思う。町長、あなたは祝金の方が良かったかも知れないと言っていた。あなたのリーダーシップが問われる。矛盾だらけのごまかしの孫抱き交付金事業は早急に再検討し、新年度から廃止すべきだ。

○観光宿泊施設ホテルニューかじたにの施設存続に対する行政支援を求める要望書について

所管である総務産業建設常任委員会での審査の結果は、隠岐の観光事業に欠かせない施設であるとの理由で趣旨採択とした。このことは、他の民間事業者から同じような要望が出たときに全てを行政が取扱うことは問題であり、議会としては不採択とすべきである。

よつて、孫抱き交付金事業と総務産業建設常任委員長報告に反対する。

審議の結果はどうなった？

議会最終日に審議をしてきた議案に対して「採決」を行った。一部の議員が反対をしたが、「賛成多数」で承認されました。

当初予算の一部に反対した議員

平田文夫 議員 斎藤幸広 議員
是津輝和 議員 高宮陽一 議員
前田芳樹 議員

2月17日に第1回臨時議会が開催され、次の4件の案件を可決、承認した。

○平成23年度一般会計補正予算の追加
西郷中学校附属改修事業2億9829万円を追加するもの。

○公共下水道管路布設（西町吉田1工区）
工事請負変更契約
自然下管の延長が短くなったことから工事内容の変更、契約金額が4万円の減額となった。

○公共下水道管路布設（1号幹線その7）
工事請負変更契約
自然下管の延長が長くなったことから工事内容の変更、契約金額が54万円増額となった。

○公共下水道管路布設（1号幹線その8）
工事請負変更契約
自然下管の延長が短くなったことから工事内容の変更、契約金額55万円が減額となった。

平成24年 第1回 臨時議会